

36 回生の臨時休校中の「演劇論」の課題

「演劇論」では演劇の歴史や理論を学びます。授業はプリントを配布して進めますが、いわゆる「教科書」はありません。自分で教科書代わりになるノートを作っておくと理解がしやすくなります。

そこで、課題は「演劇論」用のノートを作ることです。形式は自由です。自分がわかりやすいように、色々工夫をしてみてください。(ちなみに配布プリントは A3 サイズで、真ん中で切ってノートに貼れるような形です。)

作ったノートに早速、課題 1 と課題 2 をして、授業再開後の最初の授業で提出してください。見せてもらうのを楽しみにしています！

課題 1

入学式の時に提出した課題で選んだ戯曲や作者を調べて、ノートにまとめてみましょう。必ずしも手書きである必要はありません。必要部分をコピーして、切り貼りして OK です。

- モリエール、シェイクスピア、メーテルリンク、チェーホフ、テネシー・ウィリアムズ、イブセンなどを選んだ人はまず『演劇小辞典』で調べてみましょう。『ベスト・プレイズ』の各戯曲の後ろについている「解説」も役に立ちます。世界史の教科書や地図で、作者の生きた時代や都市の様子を調べてみるのも良いですね。
- 柳美里や永井愛、井上ひさしなどの現代の作家は辞書には載っていないかもしれません。その時は、読んだ戯曲が掲載されている本の「あとがき」や「作者説明」、インターネット情報など、工夫して探してみましょう。
- 若い作家さんの三吉ほたてや藤井颯太郎は調べにくいかも。あまりに情報が無い時は、違う作家を一人選んで調べましょう。(そういえば藤井さんは、みなさんの先輩ですね)

課題 2

ギリシャの演劇を調べてみましょう。

Step1 『ベスト・プレイズ』の中に載っている『オイディプス王』『女の平和』を読み、登場人物の相関図を書きましょう。(戯曲の後ろの「解説」も読みましょう)

Step2 戯曲や解説の中に出てくる知らない単語を『演劇小辞典』で調べてノートにまとめましょう。

Step3 世界史の教科書の「ギリシャ文化」に関わる箇所を読み、地図で場所を調べて、ノートにまとめましょう。